

# 一般質問

## 「市政 ここが聞きたい」



議会動画配信

9月9日(金)

### 佐賀市南部に特別支援学校を!!

山田誠一郎 (ネットワフ)



①市の特別支援教育の現状は②特別支援学校を利用しようとしている保護者に対し、どのような支援を行っているのか③大和特別支援学校に就学する場合の課題は④佐賀市南部に特別支援学校を作る必要があると考えるが、教育長の見解は。

**答弁** ①特別支援学級の在籍者数は年々増加。インクルーシブ教育の推進で多様な障がいの子どもたちが共に学んでいる。特別支援教育コーディネーター育成など特別支援教育の充実を図っている②学校見学や市役所での特別支援教育に関する就学に向けた個別面談、就学相談会など③通学区域の広さや学校規模④教育的ニーズに応える環境整備は必要で、市南部地域に特別支援学校があればありがたいが、設置は県の事業のため県に思いを伝える。  
◆その他◆コロナ禍における市職員の働き方について



### 中核市を目指す市長の市の将来像は

江頭 弘美 (自由民主党)



市は今年2月、中核市移行に伴う効果や課題を協議する庁内検討会を立ち上げた。中核市に関しては、知事と市長には温度差もある。中核市移行に関する議論は、市の行政運営にとって歴史上極めて大きな変化となる。市長の基本的な市の将来像を伺う。

**答弁** 佐賀市が将来にわたって持続的に発展していけるよう「日本一住みたくなるまち」の基盤を整えていくため、「すべての市民に安全・安心を」「子どもたちに笑顔と輝く未来を」「働く人・事業者に豊かさや安心を」「住む人・来る人によりよいまちの実感」という考え方を基本とし、県内初の中核市となることで、都市としての活力を高め、多くの方から選ばれる魅力的なまちを目指したいと考えている。



### 電子提言箱の効果的な運用を

川副龍之介 (自由民主党)



①電子提言箱には、市民からの気づきや市政への意見が寄せられているが、提言をもとに新たに取り入れたことや改善したことはあるか②高校の生徒会に提言を求めているかどうか。行政の業務への意識が高まり、主権者教育に寄与すると思うが市の考えは。

**答弁** ①改善した主な事例として、庁舎内に貸出ペーパークーを設置した。また、多目的トイレのスライドドアの開閉スピードが、障がい者にとって速すぎるとの意見を受け、すぐに調整を行った②高校生を含めた若い世代に市政への関心を持つってもらうことは大変重要であり、市政への理解を深めてもらうため、職員出前講座を利用していただくよう積極的に周知し、市政への関心を高めていきたい。  
◆その他◆森林整備について／農業用クレーン、河川の管理について



9月9日(金)

### 防災対策の現状は

実松 尊信 (緑橋市民)



①防災情報が伝わりづらい方は地域行事や訓練に参加しない等、人との交流が苦手な方も多い。大規模災害時、地域住民を適切な避難行動につなげる対策が必要では②ペットを残しては避難できないとの声がある。ペットと共に避難できる場所を増やすべき。

**答弁** ①防災情報は多くの市民に知ってもらうべき情報で、広報に力を入れるが、自主防災組織等で情報共有できる地域づくりも重要。市としては出前講座などを通じた災害発生前の避難体制の構築や発生時の情報提供で適切な避難行動を促したい  
②平成29年から公民館等でペットの受け入れ体制をとり、昨年は市立野球場でも受け入れた。当面は現体制でのペット避難の状況を見極めながら研究し、災害時のペット避難の在り方を市報等で啓発していきたい。

◆その他◆  
緑地化の推進を



9月12日(月)

### 不登校の児童生徒への支援を問う

川崎 健一 (自由民主党)



①本市の不登校及び不登校傾向の児童生徒の現状は②事態の重篤化を防ぐ早期発見や早期対応の取り組みは③教育支援センター「くすの美」やフリースクール等の多様な学びの場の情報提供は④「くすの美」やサポート相談員の充実を図るべきと考えるが見解は。

**答弁** ①今年度7月末時点で欠席30日以上の不登校207人、別室登校189人②学級担任等を中心に日頃の情報共有で早期発見に努め、保護者と連携を図り家庭訪問等の早期支援をしている③学校へ支援体制の概要説明や資料配布で周知し、保護者や教職員を対象に情報提供、交流の場を設けている④研修や情報交換によりスタッフの資質向上やスタッフ間の連携強化に努めたい。

◆その他◆①コミュニティ・スクールの推進について  
②高齢者ふれあいサロン事業への活動支援について



### 男性トイレにサンタリーボックスを

中島 妙子 (公明党)



前立腺がんなどの患者は尿漏れパッドなどを着用することが多い。男性トイレの個室にはサンタリーボックスが設置されていないため捨てること出来ないが①市役所の男性トイレにボックスが設置できないか②設置が広がるような働きかけの取り組みは。

**答弁** ①現在、多目的トイレのみ設置しているが、そのほかの男性用トイレへの設置も考えたい。まずは利用者が多い市本庁舎の1階男性用個室トイレへの設置、そのほかのトイレへの拡充は、利用状況を見ながら検討したい②最近、全国的に設置の動きがあり、必要性が高まってきている。市として、男性用個室トイレにサンタリーボックスが必要とされている状況を広く知ってもらうために、県の取り組みを参考に情報発信の方策を考えたい。

◆その他◆佐賀市平和展について



### 学力向上のため更なる取り組みを!

諸富八千代 (佐賀みりの会)



全国の小6、中3を対象とした全国学力・学習状況調査において、佐賀県は低迷が続いており、今年は両学年ともに全教科が全国平均を下回る結果となった①市の分析は②主体的、対話的で深い学びとは③授業改善は④一人一台端末の活用状況は⑤市の取り組みは。

**答弁** ①厳しい結果であり、特に算数・数学及び記述式の問題に課題。解決には主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善が重要②自ら発見した課題を友達と協力して解決するよう子ども主体の学習③主体性の観点から、計画的に学習できる環境整備を、対話性の観点から、議論や集団学習の機会を提供④学習支援ソフトを活用⑤校内研究の充実と若手教師の資質・能力の向上を柱とし、学力向上に向けて取り組み中。

◆その他◆市民とともに育つ図書館づくり/情報セキュリティ



### 東高木木角線と 周辺の安全対策は

永瀧 史孝 (自由民主党)



①東高木木角線および周辺工事の進捗状況は②工事完成後の東高木木角線および周辺道路の交通量の変化予測は③交通量推移から、将来分析をどのように考えているのか④整備後、周辺の抜け道利用に対して安全対策の必要性を感じるが、市の考えを伺う。

**答弁** ①令和3年度から用地買収に取り組み、今年8月で対象者の約半分と契約完了。来年度から工事に着手し事業期間は令和7年度までを予定②現況交通量1千7百台/日から完成後の本路線は7千台/日に、植木橋蛭川橋間の南北の交通量は4千6百台/日になると推計③整備後は交通量が増加することから両側に歩道を整備し、十分な交通安全対策を図る④交通状況を注視しながら必要なところに安全対策を行いたい。

◆その他◆学校給食/視覚資料/市民ミュージカルについて



東高木木角線

### 企業版ふるさと納税 の取り組み強化

野中 宣明 (公明党)



企業に寄附をして頂き、その後のパートナーシップ構築に向けては、賛同を得られる施策を作り、いかにアプローチしていくかが課題である。そこで①各寄附メニュー担当部署はどう取り組むのか②市長のトップセールスが重要であり、どう取り組まれるのか。

**答弁** ①視察に來られた企業や経済産業省等が主催するマッチング会、会計士等向け企業版ふるさと納税セミナー等でPRしている。庁内では、寄附受納額に応じて各部予算を増やす取り組みの後押しを行っている②寄附先の選定には企業代表者の意向が大きいと考え、市長が直接営業を行うことで寄附をきっかけとした企業との関係づくりや既に関係のある企業へ働きかけるほか、自らPR動画に出演するなど情報発信を行っている。

◆その他◆公共工事や業務委託における物価高騰対策



### 市長のインボイス 制度への認知は!

重松 徹 (自由民主党)



インボイスは益税解消等を目的に国が導入する制度であり、市が具体的な対策を打ち出す必要はないと思うものの、コロナ禍で売上が落ち込み、過重債務を抱える小規模事業者等の倒産、廃業が心配である。市長はこの制度について、どのように認知しているのか。

**答弁** インボイス制度の導入により、免税事業者は、そのまま継続するか課税事業者に移行するかを選択することになる。移行する場合は税負担や事務の煩雑さが増加するため、国による制度の周知や広報、各種申請のサポート等の取り組みがなされ、IT導入に係る補助金など様々な負担軽減策も予定されている。市としては、事業者が正確な情報を入手できるように、国の補助金等の支援策や税務署等が実施する説明会などの周知を行っている。

◆その他◆環境美化対策と地域社会の在り方について



### 障がい者の日中一時 支援、拡充を!

山下 明子 (市民共闘)



日中一時支援制度の利用日数が無制限から原則月10日になったことによりフルタイムでの復職が困難になる。①変更の理由は②利用者・事業所の意見を事前に聴いたか③医ケア児支援法の趣旨を踏まえ、介護家族の就労支援として実態に合うよう、見直す考えは。

**答弁** ①一時的な支援を行うもので、経常的な利用が前提ではないため②事業者や当事者から、短期入所などのサービスと日中一時支援の同日利用を認めてほしいという要望は聞いていた③日中一時支援だけでなく、短期入所や生活介護などの通所サービスを総合的に考えていく必要がある、利用者目線に立った対応は必要。事業の見直しが行われている事例もあるため、他都市の動向に注意を払う。

◆その他◆佐賀空港への自衛隊オスプレイ配備計画/大腸がん検診の拡充/インボイス制度の影響と対応



9月14日(水)

全国平均以下の

佐賀市の学力向上を

稲葉 高広 (自由民主党)



本市は佐賀県学習状況調査を指標に学力の動向を掴み目標設定をしているが、全国の自治体では全国学力学習状況調査を指標に学力の向上を図っている。本市は全国と比較して学力水準が低いいため、本市も全国学力学習状況調査の結果を指標にすべきではないか。

答弁 全国学力・学習状況調査は、調査時期が4月、調査対象が小学校6年生・中学校3年生の国語・算数または数学であるのに対し、佐賀県学習状況調査は、調査時期が12月、調査対象が小学校4・5・6年生4教科、中学校1・2年生5教科であることから、佐賀市では、実態をとらえやすい佐賀県学習状況調査を成果指標としている。しかしながら、全国学力・学習状況調査の分析も毎年行っており、両方を有効活用している。今後もよりよい成果指標をどのように算出すべきか検討を続ける。

調査の分析も毎年行っており、両方を有効活用している。今後もよりよい成果指標をどのように算出すべきか検討を続ける。



漁協と住民に対し

丁寧な説明を!!

江口 善己 (ネットワーク)



佐賀空港の自衛隊使用の事前協議をフライングしてまで決めたのは知事である。住民説明会を開催して自ら説明し理解を求めべきであり、このことを知事に進言できるのは、公害防止協定の立会人である市長しかない。問題解決に向けた市長の決意は。

答弁 知事は、9月7日の県議会で、今後も排水対策に全力を尽くすことや、環境保全と補償に関し、漁業者の立場に立つて対応すること、実効性のある排水対策を講ずるよう漁協や防衛省と検討を深めたい旨を答弁されており、この内容に沿った対応をされるものと考えている。市としては、重要な手順である佐賀県と有明海漁協との協議が行われているため、その状況について注視しているところである。

◆その他◆働き方改革について/佐野常民生誕200年について



九州佐賀国際空港

災害への備え及び

災害時の対応

藤田 佳典 (ネットワーク)



①福祉避難所の開設基準は②福祉避難所と指定避難所の違いは③人工呼吸器等電源が必要な方への対応は④避難所全てを開設する課題は⑤避難所でのDVやセクハラへの対応は⑥多種多様な避難者への対応は⑦自主防災組織と協力した避難所運営の取り組み状況は。

答弁 ①避難生活が約3日間以上②福祉避難所は要配慮者受け入れのための設備、人材を備えている③自家発電設備がある施設を避難所にする④福祉避難所と並行して指定避難所も運営すると配置できる職員が限られてくる⑤パーティション活用でプライバシー確保や避難所運営職員の夜間見回り、防犯ブザーの配置、LEDランタンの配布等を実施⑥避難スペースの確保、プライバシーへの配慮、授乳室やおむつ替えスペースの確保、備蓄品の整備等⑦赤松校区と北川副校区でモデル的運用を実施。

①福祉避難所の開設基準は②福祉避難所と指定避難所の違いは③人工呼吸器等電源が必要な方への対応は④避難所全てを開設する課題は⑤避難所でのDVやセクハラへの対応は⑥多種多様な避難者への対応は⑦自主防災組織と協力した避難所運営の取り組み状況は。



市北部地域への

移住・定住促進を!!

松永 恵明 (ネットワーク)



①直近3ヶ年で市北部地域への移住・定住者の実情は②移住・定住施策の課題は③今後の取り組み方は④空き家等を活用した企業誘致をどう考えているか。

答弁 ①空き家バンク制度、トレーニングファーム事業、ふるさと帰郷支援センター、地域おこし協力隊事業の活用による移住・定住者の実績は18世帯40名②空き家登録物件数が希望者に対し不足していることと売買契約成立までに時間がかかる場合があること③登録物件数の増加が必要。集落支援業務受託者の富士まちづくり協議会等の地域密着の取り組みで新規登録の動きが活発化している④移住・定住促進に有効。ニーズに合う物件を紹介、PRする。

①直近3ヶ年で市北部地域への移住・定住者の実情は②移住・定住施策の課題は③今後の取り組み方は④空き家等を活用した企業誘致をどう考えているか。



Uターンした移住者の店舗



富永 明美 (ネットワフ 佐賀)



「うるおすぽっと」設置の拡充を！

佐賀市上下水道局の給水スポットである「うるおすぽっと」。第一号が市立図書館に設置されたが①重い水筒を持参している子ども達の負担軽減のためにも小中学校への設置を求める②佐賀市のおいしい水道水 P R のためにも他施設への設置拡充を。

**答弁** ①給水スポットの設置については、高額なものであり、導入経費に加え維持費も必要となることから、小・中学校への設置は財政的に大変厳しいと考えている②今年度は文化施設である市立図書館に設置したので、令和5年度は体育施設に設置したい。目的が異なる2つの施設での利用状況を比較検証し、その他の設置場所について今後の計画も含めて検討したい。

◆その他◆分身ロボットを活用した支援について／「市再犯防止推進計画」の策定について



市立図書館のうるおすぽっと



福井 章司 (自由民主党)



歴史的遺産を守るまちづくりを！！

①歴史的風致維持向上計画第二期の城下町について住民への聞き取りを充実すべきでは②片田江七小路の認識は③城下町の街並み保全のための高度地区規制とは④こうした規制について課題をどう認識するか⑤6月議会の請願の趣旨採択後の市の取り組みは。

**答弁** ①策定前に計画に関係する住民等から意見聴取したが、対応できていない部分もあり、課題として認識②武家地であった歴史が地域の思いとともに受け継がれている場所③城内および城外の一部が対象であり、建築物の高さを最大15mに制限④規制が土地の資産価値に影響を与えるため、規制の在り方を協議したい⑤住民へ各種法令に基づく提案制度を説明する機会を設け、地元に取り寄せたまちづくりを進めたい。

◆その他◆佐賀城下再生百年構想について／災害対策におけるマンパワーは



村岡 卓 (公明党)



子どもが主役の居場所づくりを！

「子ども家庭庁」が創設され、子どもの健やかな成長を社会全体で後押しすることが求められる①今後、市が目指す子育て支援の考えは②コロナ禍で居場所づくりに尽力いただいている方への支援内容は③全ての子どものため、多様な居場所の必要性は。

**答弁** ①子どもや子育て世代のニーズを拾い上げ社会環境の変化に確に対応した政策を行い、市長がリーダーシップを発揮し関係部署間の連携を強化してワンチームで子育て支援を推進する②居場所の開設・運営の補助や相談対応、フードバンク等支援団体の紹介に加え活動に応じた感染対策の情報提供③さまざまな境遇の子どもたちを幅広く受け入れる多様な居場所が存在することは意味があり、各団体の多様な取り組みが広がるよう後押ししたい。

◆その他◆生活習慣病の重症化予防について



中野 茂康 (緑橋自民)



防災無線について 難聴地区の解消を

住民の生命や財産を守るために、防災無線の屋外拡声子局を205局設置しているが、台風や大雨の災害時に「聞こえない」「聞こえない」などの声が市民から出ている。その原因と聞こえにくいことへの改善策を問う。

**答弁** 避難情報と緊急情報の放送は最大の音量である。しかし風向きや雨音などの自然現象の影響や、気密性が高い住宅が窓などを閉めている場合には、音声十分に届かない場合があり、屋外拡声子局の音声だけでは、防災情報の隅々までの周知は困難と考える。そこで解決策として防災情報発信の多様化を進めており、様々な広報手段で周知を図りたい。新しいサービスの提供や情報提供についても、引き続き検討したい。

◆その他◆農業振興について／公共施設の今後の管理について



※1 片田江七小路…現在の松原三丁目、四丁目、水ヶ江二丁目付近にあたる。江戸時代には、「馬貴馬場」から南へ順に「通小路」「権小路」「花房小路」「中ノ橋小路」「枳小路」「会所小路」とも呼ばれ、佐賀藩直属の中級武士が住んでいた。いつ頃からか総称して片田江七小路と呼ばれるようになった。

9月16日(金)

新幹線、市の立場を  
明らかにせよ

西岡 真一 (自由民主党)



西九州新幹線武雄温泉～長崎間の開業を迎え、フル規格をつなげてほしいとの声が高まってきている。佐賀市にとってどのような整備が最適なのか、市民ファーストの視点から、市としての立場を明確に訴えていくべき時ではないかと思う。市長はどう考えるか。

**答弁** 市の将来に関わる大変重要な項目である平行在来線、特に特急列車への影響、運行本数や運賃、財政負担、ルート、まちづくりへの影響、時間短縮効果等の判断材料について、国と県の「幅広い協議」の中で示される必要があると感じている。また、新幹線が開通するまち、特急列車が減少するまちそれぞれに変化が表れると思う。市の将来を考えるために、今後の人の動き、まちの変化をしっかりと見極めていきたい。

◆その他 ◆佐賀市のし尿処理について／プラスチックごみの処理について



設置するAEDから  
使えるAEDへ

江原 新子 (自由民主党)



心肺蘇生が必要な緊急事態には、一秒でも早くAEDを使用できる環境が必要である。児童生徒はもちろん、社会体育や地域活動等で施設施設時市民の利用頻度が高い市内小中学校のうち47校における校舎内設置AEDを早急に屋外に設置すべきではないか。

**答弁** 現在、学校に設置しているAEDと屋内用AED収納ボックスは、そのまま屋外に設置できるほどの耐久性は備えていない。既に屋外に設置している学校を検証しながら、どのような方法で屋外に設置するのが適当かを検討しているところである。

◆その他 ◆重度心身障害者医療費助成制度について／「トンボ王国・さが」について



室内に設置されたAEDの使用説明

子どもたちの健やかな成長のために

御厨 洋行 (自由民主党)



①国土強靱化計画の「学校トイレの洋式化」に対し本市の進捗状況は②学校のトイレに関するさまざまな相談は届いているか③学校のトイレを使えず困っている子どもたちが多く、大規模改修の際には無くトイレのみの新たな整備を求める。

**答弁** ①小学校35校、中学校18校にある2,660基の大便器のうち洋式便器は1,315基あり、洋式率は約49%②男子児童が大便をするとかかわれるため学校のトイレを使えないといったことは教育委員会に届いていないが、校長会等においてこのような事例があることを伝え、心の教育に一層力をいれるよう周知したい③建て替えや大規模な改修事業と並行して、今年度からはトイレのみの改修を実施し、学校トイレの洋式化を進めていきたい。

◆その他 ◆子どもの教育について



9月20日(火)

小学校の学校給食  
について

千綿 正明 (自由民主党)



学校の米飯給食は、平成21年に提案した時は週3.1回だった。ウクライナ戦争の影響と食料安全保障を考えれば増やすべき①現在の米飯給食の頻度は？②国も米飯給食を勧めている。佐賀市の方向性は③増やすのであれば計画を立てるべき。策定期時は。

**答弁** ①現在の市内の学校や給食センター29施設の米飯給食の提供について、ほぼ毎日提供している中学校給食センターを除くと、週4回が5施設、週平均3.5回が1施設、週3回が22施設となっており、令和4年度の市内小・中学校の1週間における米飯給食の平均回数は、3.3回となっている②パン給食も必要とは思いますが、米飯給食の回数を増やすことを検討していく必要があると考える③現時点で具体的な方針を示すことは難しいが、2年程度を目途に今後の目標を決めたい。



香害理解と周知啓  
発をさらに広げよ

中村 宏志 (公明党)



①これまで周知啓発等に取り組み  
てきたが、小中学校での相談対応・相  
互理解を広げる周知啓発に関した取り  
組みは②佐賀市として相互理解を深め  
るために、香害被害者に対して寄り添  
い、意見相談、お悩みを聞く場と機会  
を設けたらどうか。

市道の除草業務の  
在り方を問う！

山口 弘展 (緑橋市民)



近年、異常気象の影響もあり、公道  
脇の雑草の繁茂が著しい。①現在の除  
草業務の在り方、回数は②年間委託に  
おいて除草の回数を増やせないか③市  
内一律ではなく一部繁茂が激しい地域、  
路線はその回数を増やすなどの対応を  
求めるが、今後の対応等市の見解は。

待機児童ゼロ継続  
と定員割れを防げ

平原 嘉徳 (自由民主党)



年度末の待機児童の見込みはどうか。  
また、定員割れの現状と見込みは。職場  
の異動がわかってから申し込んでも入  
所できない状態にある。申し込み時期を  
延期すべき。更に、定員割れで園児確保  
に苦慮している園で新たに送迎バス運  
行を認めてはどうか。

公害防止協定の  
精神を重視せよ！

白倉 和子 (さが未来)



今年に入ってから墜落死亡事故が  
相次いでいるオスプレイ。①有明海で  
事故が起きると海苔関連産業を含め大  
打撃を受けるが見解は②大詫間支所  
の説明会で九州防衛局長が「米軍常駐  
はしないと文書化する」と明言され  
たが③市長としての発言の責任は。

答弁 ①年度初めに健康に関する  
調査や家庭訪問等を行い、実態を把  
握し、保護者等との情報共有や全職  
員の共通理解を図り組織的に取り組  
んでいる。香害を含め学校の実情に  
応じ理解啓発を行っており、継続し  
ていく②香害の発症メカニズムは未  
解明な部分が多く、国が研究してい  
る状況で市から専門的な助言は困難  
だが、市では複合的な課題対応を行  
う「福祉まるごと相談窓口」で化学  
物質過敏症の相談支援を行った実績  
があり、ここで香  
害に悩まれている  
方に対応したい。  
◆その他◆農業に  
ついて



答弁 ①通行の安全に支障をきた  
すおそれがある路線などを、業務委  
託により6月・9月の年2回除草し  
ている。また、緊急性がある場合は  
随時施設管理センターの職員が除草  
している②財政的な面で一律に除草  
回数を増やすことは困難③良好な道  
路環境を確保するため、交通量が多  
い通学路かつ雑草の繁茂が激しい場  
所については、除草の回数を増やす  
こと、路線に応じて効果的な時期に  
除草すること等も検討したい。  
◆その他◆公共工事の在り方(物価  
高対応、設計  
変更、残土処  
分場建設)に  
ついて



公道脇の雑草の繁茂の様子

答弁 年度末待機児童は大幅に増  
える状況ではないと予想しており、  
2号3号認定児童定員が9割未満の  
園は市内保育所約9・7%等一定程  
度ある。また、女性の社会進出等に  
よる保育ニーズの増加傾向と少子化  
という相反した要因があり、今後の  
見込みが非常に立てづらい。来年度  
からの申し込みは期間を延長し、保  
護者が少しでもゆとりを持ってよう  
対応したい。3歳以上の児童送迎バ  
ス運行は実施可能  
と考える。  
◆その他◆市長の  
政治姿勢/防犯カ  
メラの設置/残土  
処理場と農地のか  
さ上げ



答弁 ①安全確保については大変  
重要と考えており、新たな情報があ  
れば防衛省等に原因や対策を確認  
していく②説明会であげられた、米  
軍の佐賀空港移設に関する懸念の  
声を受け、文書化する旨の発言がさ  
れたと聞いており、今後の協議の中  
でも確認がなされていくものと考え  
る③オスプレイに関する答弁の責任は  
しっかりと負っている。今後、覚書  
の協議の段階になれば、きちんと対  
応していく。  
◆その他◆男性用ト  
イレへのサニタリー  
ボックスの設置につ  
いて/新型コロナウイルス  
感染症について





宮崎 健 (自由民主党)

小学校遊具の計画的な設置を!!



市立小学校の遊具設置について①遊具設置の計画はあるのか②設置基準を持つべきと考えるが見解は③学校からの遊具設置のニーズについてどう対応しているのか④インクルーシブ遊具の導入についての検討は。

**答弁** ①総合計画は作成していないが、各学校の設置数や種類を把握し、毎月劣化損傷がないか点検している②遊具の要望もさまざままで一律の選定基準を設けるのは難しい③学校別ニーズは年1回学校要望ヒアリングで把握し、年度途中個別に要望がある場合は、学校予算の中で対応するため安全性・緊急性を考慮し優先順位を決めて対応している④今後先進事例等を把握し、整備・利用状況導入課題を研究していきたい。

◆その他◆第51回佐賀城下栄の国まつり  
中心市街地の活性化



高齢者・障がい者支援クーポン券支給事業について、市の対応を求める！  
～全会一致で附帯決議を可決～

附帯決議とは

佐賀市議会では、特に改善や留意を要すると判断した事項について、意見や提言を決議として付しています。

この附帯決議は、議会全体の意思として、事業運営に反映することを求めており、市が極めて重く受け止めるべきものです。



福祉教育委員会審査の様子

9月定例会では、令和4年度一般会計補正予算案中「高齢者・障がい者支援クーポン券支給事業」に関して、審議を付託された福祉教育委員会で以下のような意見を取りまとめ、議会全会一致で可決しました。

この事業に関する審査において、以下の点で問題があると認められた。

- ・この事業の目的が、65歳以上の高齢者と65歳未満の障がい者の生活支援であるにも関わらず、クーポン券には利用期間及び用途に制約があり、支給対象者によっては、利用されない可能性がある。
- ・事業が地域経済対策を兼ねていることは理解できるが、支給対象者が必要とする店舗が参加するかが不透明である。

以上のことなどから、事業の制度設計について事前の調査検討が十分ではないと考えられるため、事業の実施にあたり、以下の事項についての対応を求める。

- (1)支給対象である高齢者及び障がい者にとってより利便性が高く、公平で確実な支援とする観点から、現金支給とし、事業名を変更すること。
- (2)事業内容の変更について早急に市民へ広報を行い、周知を図ること。
- (3)事業の進捗状況について、適宜議会へ報告を行うこと。